

公益社団法人 日本地震工学会 第10回理事会議事録

A. 日 時：2014年6月26日（木）17時00分から20時30分

B. 場 所：建築会館304会議室（東京都港区芝5-26-20）

C. 出席者：（会 長） 安田 進

（副 会 長） 志波由紀夫、山崎文雄

（担当理事） 新海 元、副島紀代、和泉信之、佐藤正行、藤川 智、久田嘉章、
古屋 治、鳥井信吾、境 茂樹、澤田純男、片岡正次郎、塚本良道

（監 事） 五十嵐克哉

（欠 席） 福和伸夫、藤原広行、年縄 巧、横井俊明、小檜山雅之、小林信之

オブザーバー出席：吹野美絵事務局長

D. 提出資料

- 資料 10-01 平成26年度 役員一覧（新海理事）
 - 資料 10-02 平成26年度 組織図（新海理事）
 - 資料 10-03 平成26年度 理事会の進め方（新海理事）
 - 資料 10-04 平成26年度 理事会等の日程（案）（新海理事）
 - 資料 10-05 第9回理事会議事録（案）（新海理事）
 - 資料 10-06 第2回社員総会議事録（案）（塚本理事）
 - 資料 10-07 会務報告（新海理事）
 - 資料 10-08 入退会者（片岡理事）
 - 資料 10-09 共催・後援・協賛等（副島理事）
 - 資料 10-10 委員会委員の委嘱（副島理事）
 - 資料 10-11 総会規則、財産管理運用規則の変更について（新海理事）
 - 資料 10-12 選挙規程の変更について（藤川理事）
 - 資料 10-13 会長特別委員会覚書（案）（新海理事）
 - 資料 10-14 平成26年度事業計画（新海理事）
 - 資料 10-15 平成26年度収支予算書（和泉理事）
- 「日本学術会議」について
- 資料 10-16-1 「日本学術会議」関連の案件（志波副会長）
 - 資料 10-16-2 「学術フォーラム」共同声明（案）（志波副会長）
- 資料 10-17 「兵庫県南部地震20周年企画」（暫定案）（境理事）
- 平成26年度事業企画(案)
- 資料 10-18-1 平成26年度事業企画委員会 第2回議事録（案）（鳥井理事）
 - 資料 10-18-2 メディア交流会について（鳥井理事）
 - 資料 10-18-3 メディア交流会 収支予算書（案）（鳥井理事）

- 資料 10-18-4 E-ディフェンス震動台見学会のご案内（案）（鳥井理事）
- 資料 10-18-5 E-ディフェンス見学会 収支予算書（案）（鳥井理事）
- 資料 10-18-6 東日本大震災合同調査報告 刊行記念シンポジウム 収支報告書（鳥井理事）
- 資料 10-19 会費収入（法人会員）の改善策について（藤川理事）
- 資料 10-20 次期「監事候補」選挙スケジュールについて（藤川理事）
- 資料 10-21 スペシャルアドバイザーの活用について（藤川理事、片岡理事）
- 資料 10-22 会誌編集委員会報告（久田理事）
- 資料 10-23 （資料なし）
- 資料 10-24 論文編集委員会報告（年縄理事）

E. 議題

1) 会長のあいさつ（安田会長）

- ・安田会長から、平成 26 年度第 1 回としてのご挨拶があった。
- ・鳴原さんの後任として今年度から就任された吹野事務局長の紹介があった。

2) 役員の紹介（新海理事、資料 10-01）、自己紹介（全員）

新海理事より資料 10-01 を用いて役員の紹介がなされた。

資料 10-01 について、以下の点を修正する。

- ・鳥井理事の所属：日建建設→日建設計
- ・小林監事の任期：無印→※印（田蔵監事の後任のため、平成 27 年 5 月 31 日まで）

3) 役員の分掌（新海理事、資料 10-02）

新海理事より資料 10-02 の内容通り、今年度の組織図、役員の分掌について確認された。

なお、目黒次期会長は、今年度の組織には入らず、来年度の準備のため秋頃からオブザーバーとして理事会にご同席いただく予定であることが確認された。

4) 平成 26 年度理事会の進め方（新海理事、資料 10-03）

新海理事より資料 10-03 を用い、今年度の理事会の進め方の説明があった。また、定款、理事会規則、理事会資料・開催案内、メール審議、ホームページの運用等について説明がなされた。

なお、JAEE News の巻頭言は、新任理事が持ち回りで執筆することになっているので、今年度も協力をお願いしたい旨、IC 委員会の小檜山委員長からの依頼が伝えられた。

5) 理事会年間予定（新海理事、資料 10-04）

資料 10-04 の内容通り、今年度の理事会、正副会長会議、拡大正副会長会議の日程が確認されるとともに、来年度の第 3 回通常総会日程について報告があった。

なお、昨年より理事会が 2 回減っているため、その分メール審議等を活用して会務を進めていく方針であることが確認された。

E 1. 報告事項

6) 第 9 回理事会議事録（案）確認（新海理事、資料 10-05）

新海理事より資料 10-05 を用いて、「第 9 回理事会議事録（案）」について説明があり、本内容にて了承された。

7) 第2回社員総会議事録(案)確認(塚本理事、資料10-06)

塚本理事より資料10-06を用いて「第2回社員総会議事録(案)」の説明があり、下記修正事項を修正することで了承された。

- ・p.1 出席理事(平成26年度就任)より佐藤正行理事の氏名を削除(当日欠席のため)
 - ・p.1 第2号議案について、監査は第1号議案と第2号議案を合わせて実施しているため、そのように文言を修正
 - ・p.2 第4号議案について、理事の選任は個別であるので、その旨を記載する
- なお、5号議案、6号議案については、議案とする必要性について、今年度規約等を検討することとなった。

8) 会務報告(新海理事、資料10-07)

新海理事より、資料10-07を用いて、5月12日～6月26日までの会務報告がなされた。なお、以下の修正点が指摘された。

- ・6月03日(火) : JARR→JAEEに修正
- ・6月13日(金) : 専売館ホール→専売会館ホールに修正

9) IAAE日本代表について(安田会長)

安田会長より、4年間IAAE日本代表をお務めいただいた川島先生に代わり、JAEEから次期IAAE日本代表として中埜先生を推薦することについて報告があった(ご本人内諾済)。

E2. 議案

第1号 入退会者(片岡理事、資料10-08)

片岡理事より資料10-08により「入退会者」の報告がされ、2014年6月26日現在、入会者は正会員10名、学生会員1名、法人会員3社、学生会員から正会員の転格者は2名、会員資格復活者は学生会員1名、退会者は学生会員2名、逝去者は正会員1名が承認された。

以上の結果、個人会員数は、名誉会員28名、正会員1,109名、学生会員106名で、総数は個人会1,243名、法人会員101社となることが確認された。

第2号 共催・後援・協賛等(副島理事、資料10-09)

副島理事より資料10-09により、以下に示す共催(1件)、協賛(2件)の報告があり、承認された。

- ・共催依頼 : 研究フォーラム「大地震時における超高層マンションの揺れと被害
—東日本大震災の経験を踏まえて—」
(主催 : 東京理科大学、共催 : 日本地震工学会・工学院大学・新宿駅西口防災対策協議会)
- ・協賛依頼 : 2014年度 計算力学(CAE技術者)資格認定事業
(主催 : 一般社団法人日本機械学会)
- ・協賛依頼 : 日本保全学会「第2回ICMST国際会議」

(主催：日本保全学会)

第3号 委員会委員の委嘱（副島理事、資料10-10）

副島理事より資料10-10を用いて説明がされ、以下の点を修正の上、今年度の各委員会の委員構成が承認された。

- ・将来構想委員会・日本地震工学会大会実行委員会の古屋治理事のご所属について、東京都立大学→東京都市大学に修正する。
- ・選挙管理委員会の委員については、総会で選任された委員とする。
- ・役員候補者推薦委員会の委員から志波由紀夫理事を削除する。

第4号 規則・規定類の改定（新海理事・藤川理事、資料10-11～資料10-13）

以下の規則・規定類について、新海理事・藤川理事からそれぞれ改定に関する説明があった。

- ・総会規則、財産管理運用規則（新海理事、資料10-11）

新海理事より定款と総会規則および財産運用規則で不整合があったため、資料10-11に基づき定款に準じて規則を変更する旨説明があった。変更箇所は総会規則は資料10-11（別紙1）に示す第2条(6)、財産管理運用規則は資料10-11（別紙2）に示す第11条および第16条であり、当該部分については議論の上、承認された。

なお、理事会規則にも影響することから、そちらも見直しが必要という意見があったため、総務で整合性を確認する。また、理事会規則16条（ウ2）に示された「付議」の意味を確認し、必要な条文の修正を検討する。

「第3章 予算」について、第11条の「理事会の決議により」の文言に違和感があるので、適切に修正する。

- ・選挙規程（藤川理事、資料10-12）

藤川理事より資料10-12に基づき、第1条、第4条、第19条、第20条、第21条について修正案の説明があった。ほかにも5条3、9条3、13条等修正箇所が多岐にわたるため、総務で全体の整合性を再度確認することとなった。

- ・会長特別委員会覚書（新海理事、資料10-13）

新海理事より資料10-11に基づき会長特別委員会覚書について説明があり、承認された。

E3. 懇談事項

10) 平成26年度活動計画（新海理事、資料10-14）

新海理事より資料10-14を用いて、平成26年度活動計画について説明があった。説明に対し、以下の意見があった。

- ・「4. 文献・資料の収集および活用(2)地震観測記録（強震記録）」について、震災予防協会から引き継いだ記録が資料に示された他にもあるはずなので、事務局で確認してほしい。
→震災予防協会では、過去には他にも強震データがあったようだが、解散時点では既になく、引き継いだのは資料に記載されたものだけである。（事務局にて後日確認）
- ・「8. 日本地震工学会機構運営に関する所管事業(3)会員・情報」に示された「NewsLetter」

「JAEE News」等の正式な表記（大文字・小文字、スペースの有無など）について確認してほしい。

→後日、IC 委員会委員長の小檜山理事に確認いただき、下記の通りとなった。

（規則等文章中に記す場合）JAEE News、JAEE Newsletter

（出版物のタイトルとして）JAEE NEWS、JAEE NEWSLETTER

11) 平成 26 年度予算（和泉理事、資料 10-15）

和泉理事より資料 10-15 を用いて、平成 26 年度予算について説明があった。昨年来学会の財政状況は厳しい状況で繰越金が減少傾向にあるため、今後 2～3 年で予算の 2 割くらいの繰越金確保を目標とした予算になっていることが確認された。また、以下の意見があった。

・予算における公益目的事業の比率を提示してほしい。

→吹野事務局長より、決算書に記載された今年度の損益予算書が参考資料として配付された。

なお、この損益予算書において端数の合わない項目があること、正味財産期首残高の値の根拠が不明であることが指摘されたため、事務局にて確認の上、次回理事会にて説明いただくこととなった。

12) 「日本学術会議」について（志波副会長、資料 10-16-1～2）

志波副会長より資料 10-16-1 を用いて、「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」（日本学術会議）に関連する行事等が説明された。なお、今年度の実務担当者は志波副会長および吹野事務局長が前任の福喜多元理事・嶋原元事務局長から引き継ぐことが確認された。関連行事については議論の結果、以下の通り取り組むこととなった。

・関連行事は以下の通り。

1. 学術フォーラム「東日本大震災・阪神淡路大震災等の経験を国際的にどう生かすか」：
2014 年 11 月 29 日（東京）

2. 防災・減災に関する国際研究のための東京会議：2015 年 1 月 14 日～16 日（東京）

3. 第 3 回国連防災世界会議：2015 年 3 月 14 日～18 日（仙台）

4. 第 5 回世界工学会義：2015 年 11 月 28 日～12 月 4 日（京都）

・3. 4. がメインの行事で、1. 2. はこれらに先立つプレイベントの位置付けである。

・1. について；資料 10-16-2 に示された共同声明(案)について、9 月の理事会で最終案を確認する。最終ページの担当者は、安田会長以外に志波副会長、新海理事の名前を入れる。

・2. について；ポスター展示に出展するかを議論した結果、出展しないこととなった。

・3. について；WCEE 誘致のため関連事業に応募するかを議論したが、政府機関の出席者が多いため誘致に効果があるか疑問という意見があり、まだ結論を出すまでに猶予があるので今回はペンディングとして、山崎副会長に状況をウオッチしていただくこととなった。

・4. について；技術展示会に参加するかを議論したが、まだ時間的に余裕があるので、今回はペンディングとして、様子を見て後日議論することとなった。

13) 他学会との連携について

・日本地震学会「兵庫県南部地震 20 周年企画」の報告（境理事、資料 10-17）

境理事より資料 10-17 に基づき、「兵庫県南部地震 20 年シンポジウム企画」について、下記の通り現在の暫定案の説明があった。

- ・日程は1月24日が有力。時期的に同様のイベントの企画が多く、会場確保が難しいが、目標の300名程度が可能な会場候補をピックアップしている。
- ・一般市民だけでなく、震災を知らない若手の研究者にも勉強になるイベントにしたい。
- ・キーワード、話題提供者等についてご意見があれば推薦をお願いしたい。
- ・予算として、主催の各学会（3学会）からの寄付（10万円/1学会、計30万）と、自治体からの助成金30万円の計60万円を予定している。

以上の説明を受けて、下記のような意見があった。

→他の同様のイベントとの差別化が必要。

→3学会でやるのなら、それぞれのエキスパートがボランティア（無料）で講師を務めては。

→当学会からの寄付10万円は仮支出として、後で戻してもらえないか。

その他に何か意見等があれば、各理事よりメール等で境理事に連絡する。

14) 平成 26 年度事業企画（案）（鳥井理事、資料 10-18-1～6）

鳥井理事より資料 10-18-1 に基づき、今年度の事業企画委員会の活動について説明があった。

また、各行事の詳細について以下の通り報告があった。

- ・メディア交流会（8/6 開催予定）：資料 10-18-2、10-18-3 に基づき、概要および収支計画について説明があった。6/17 に案内を発信→現在、2名の申し込みがあるとのこと。
- ・E-ディフェンス震動台見学会（9/11 開催予定）：資料 10-18-4、10-18-5 に基づき、概要および収支計画について説明があった。今年は震動台のメンテナンスをしているため、機械的などところを見学いただく予定とのことである。
- ・「東日本大震災合同報告 共通編3編」刊行記念シンポジウム「地震災害再考. ファンダメンタルをふまえて」（6/13 開催）：資料 10-18-6 に基づき、同シンポジウムの収支報告がなされ、計138名の参加者で収支差額が約20万円の黒字となったことが報告された。

15) 会費の値上げについて（藤川理事、資料 10-19）

藤川理事より資料 10-19 に基づき、会費収入の改善策として法人会員会費の値上げの案について説明があった。それに対して、以下のような意見が出た。

- ・C級会員にB級会員への変更をお願いしてはどうか。
- ・土木学会100周年のように、創立15周年などの名目を作って寄付金を募ってはどうか。
- ・昨今の情勢から、民間企業で会費の増額は現実的には難しいものがある。
- ・C級会費はそのままに、広く会員企業を増やすという方策もある。
- ・企業にとってのメリットを考えることも重要である。例えば、年次大会の企業展示を会員価格でできるようにするなど。
- ・年次大会を地方でやると個人会員が増えるので、法人会員だけでなく個人会員の増加策も検討が必要である。→次年度の大会開催場所について検討する際に考慮する。

以上の意見を参考とし、今後も引続き議論するものとする。

16) 2015 年度監事候補選挙について（藤川理事、資料 10-20）

藤川理事より次期（2015 年度～2016 年度任期）監事候補 2 名に関して、2015 年 1 月に選挙、2015 年 2 月に次期監事候補決定という日程で進めたいとの説明があり、この日程に合わせて選挙管理委員会、役員候補推薦委員会の活動を始めることが確認された。

17) スペシャルアドバイザーの活用について（藤川理事、資料 10-21）

藤川理事よりスペシャルアドバイザー（現在 11 名）の活用について、資料 10-21 により今後の活動案および学会 HP 掲載用の公開講座・出前授業の案内について報告があった。

→後日学会 HP に掲載予定である。

18) 会誌編集委員会報告（久田理事、資料 10-22）

久田理事より、会誌 22 号はもうすぐ発刊（7 月予定）であることと、資料 10-22 を用いて会誌 23 号の内容について報告があった。なお、22 号は総会報告で 50 ページくらいになってしまったので、23 号は 40 ページ位に収める予定とのことであった。

19) 論文集編集委員会報告（年縄理事、資料 10-24）

欠席の年縄理事に代わり、新海理事より資料 10-24 を用いて、論文集編集委員会から前回理事会以降の進捗報告として、第 14 巻第 3 号への登載決定が 3 編、査読中が 3 編あるとの報告がされた。また、第 14 回日本地震工学シンポジウムの特集号の企画が編集委員会で審議の上受理されたことの報告があった。

20) SIP への公募について（安田会長）

安田会長より、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の公募について、テーマの一つである「地域連携による災害対応アプリケーション技術の開発」が、今年度から活動を開始する特別研究会（委員長：久田理事）の内容と関連するので、JAEF として応募する方向で検討を進めたいという提案があり、特に反対意見もなく賛同を得た。また、具体的な計画書の作成および提出の判断を正副会長会議に委ねることについて承認された。

21) 震災対策技術展（仙台）について（境理事）

境理事より、8 月 7 日に仙台で開催される第 5 回震災対策技術展（仙台）のアナウンスがあった。→当日は勧誘のため、入会申込書等も置いてもらうようにする。

次回予定：日時：平成 26 年 9 月 18 日（木） 17：00 より

場所：未定

記録担当：総務理事 副島 紀代